

■リハビリテーション事業管理部

1. 2021年度の目標及び方針

2021年度は、新型コロナウイルス禍でのスタートとなる。主な計画としては2021年5月1日鴨川市立国保病院のリニューアルオープンに伴い当院との機能連携を強化することとなり理学療法士1名を出向派遣となる。11月はCCRC (Continue Community Retirement City) への取り組みとして三井不動産レディデンシャルとの業務提携によりクリニック開設に伴う外来リハビリテーション及びフィットネスの提供を計画。また、亀田京橋クリニック併設の「亀田京橋スポーツ医科学センター(42条施設)」を開設し検診事業及びスポーツ医学科との連携により、運動習慣対策のためのメディカルフィットネス事業を展開する。リハビリテーション事業部としてのあらたなご利用者の拡大を図っていく。

その為にも人材育成、特にリーダー育成は喫緊の課題であることから部内でのリーダー育成として、アテンディングセラピスト育成(リハ科医師によるリスク管理講習と認定制度)を独自に導入、さらにEBP (Evidence Based Practice) 教育を取り入れる。

2. 2020年度評価

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大下での診療および教育などBCP策定を行いすすめた。特に、採用活動、教育活動などは対面での活動制限に伴い積極的にオンライン化を推進した。結果的には対面の採用より時間的、費用的な側面のメリットを受けた影響か応募数の増加及び予定枠数の採用につながった。教育的側面においても対面での研修及び学会が中止となる中、オンラインでの発表や研修の取り組みが進められた。さらにオンライン、オンデマンド教育は場所や時間を超えて広く共有することができることから職員教育として、ネオ標準化推進においては非常に有用と考えられたことから、オンラインに向けた知識や技術も部内教育として不可欠となることを実感した。一方ICT活用は、著作権等の課題もあることから、今後これらを拡大させていたためのリテラシー教育も同様に取り入れていく必要がある。

診療実績的には、新型コロナ感染症禍で年度はじめの低下は見られたものの年度を通しては前年度と同程度の実績を堅持できた。

3. 年間活動内容(試みや特徴など)紹介

- ① 新型コロナ患者受け入れフローチャートの策定
新型コロナ感染症患者へのリハビリテーション実施にむけたフローチャートの策定、定期的な見直しを図った。
- ② リハビリテーション事業部としてBCPの策定
各事業所及びチーム間での業務負担軽減及び新型コロナ感染症拡大に伴う事業所間負担の平準化を目的としてリハビリテーション事業部全体としてBCP(Business Continue Plan)策定を図った。
- ③ オンラインによる採用活動を積極的に実施した。Youtube 動画配信及びオンラインでの採用試験の実施を行った。

表1 人員配置（2021年4月1日現在）

	事業部	総合病院	クリニック	リハビリ病院	在宅訪問	安房地域医療センター	亀田ファミリークリニック館山	たいよう	亀田森の里病院	合計
理学療法士	1	81	14	23	4	33	6	7	19	188
作業療法士	0	12	3	7	1	5	1	1	1	31
言語聴覚士	0	9	5	3	0	4	4	0	0	25
歯科衛生士	0	2	0	0	0	1	0	0	0	3
トレーナー	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
健康運動指導士	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3
事務	1	3	4	0	0	0	0	0	0	8
	2	107	30	33	5	43	11	8	20	259

* トレーナー・健康運動指導士はスポーツ医科学センター所属

4. 学術関係

1) 学会発表

【表2】学会発表

2) リハビリテーション研究会発表

目的：継続的改善を視点に、以下の2点を目的とする。

- ① 疑問を科学的に解決する方法を学ぶ（研究計画、実施、発表、論文執筆）
- ② 批判的吟味の方法を学ぶ（抄録の読み方、発表された情報の見方、発表に対する質疑など）

リハビリテーション研究会最終報告会（2019年度） 日時：2020年7月17日（金）

表3 発表演題

	発表者	演題名
1	山内弘喜	血流制限トレーニングが対側下肢の筋力および筋肥大に与える影響
2	齋藤 洋	高齢心不全患者における多面的フレイルの頻度と予後への影響
3	土田美裕喜	新規血液透析導入期における身体機能とADLの変化
4	上村尚美	回復期リハビリテーション病棟患者の退院後日常生活動作の変化の特徴
5	太田幸將	急性期一般内科病棟における専従PT配置の効果

リハビリテーション研究会中間報告会（2020年度） 日時：2021年2月27日（土）

表4 発表演題

	発表者	演題名
1	上村尚美	回復期リハビリテーション病棟患者の退院後日常生活動作の変化の特徴（継続）
2	比護文也	人工膝関節全置換術後患者に対する早期集中可動域練習が膝関節屈曲に与える影響
3	浅井ちなみ	前立腺全摘除後の尿失禁の実態調査と関連因子の検討
4	石井晃弘	血流制限トレーニングが対側下肢に与える影響：予備的研究
5	渡邊 愛	経鼻経管栄養を受けたサルコペニアで重度摂食嚥下障害がある症例の経過

3) 執筆活動

【表5】執筆活動

5. 教育活動

1) 臨床実習

2020年度臨床実習受入 受入実習期間 2020年4月～2021年3月まで

受入予定学生数：46名 実質受入件数17件 コロナのため中止29件

表6 学生内訳

	総合実習	評価実習	見学実習	合計
理学療法士	7	3	0	10
作業療法士	1	4	0	5
言語聴覚士	2	0	0	2
合計	10	7	0	17

2) 理学療法士講習会オンライン開催

①理学療法におけるリスク管理とその対応（急性期から在宅まで）

日 程：2020年11月14日（土）

参加者：24名（理学療法士）

内 容：リハビリ診療におけるリスク管理総論・疾患別各論（講義）

基礎的救命救急法・シミュレーション（ビデオレクチャー）

②ICU病棟で使用する人工呼吸器を克服する

日 程：2021年1月9日（土）10日（日）

参加者：14名（理学療法士）

内 容：ICU入室患者に使用される人工呼吸器とそれにかかわる医学管理の基本

3) 特別勉強会（外部講師）

表7 リハビリテーション事業管理部特別勉強会

	日時	テーマ	講師	担当チーム
1	2020/11/2・ 12/21（2回）	慢性疼痛のメカニズムや疼痛の原因分類、介入方法	西鶴間メディカルクリニック 江原弘之 PT	総合病院 運動器
2	2021/2/27	投球障害の診方と治し方	八王子スポーツ整形外科 坂雅之 PT	CLPT
3	2021/3/13	生活期リハビリテーションにおけるセラピストの働き方	やまだリハビリテーション研究所 山田剛 OT	訪問リハ

6. その他

1) リクルート

学生対象リハビリテーションオンライン説明会（6回開催）

総勢 125 名参加 (PT94 名、OT21 名、ST10 名)

表 8

開催日時	PT	OT	ST	計
2020 年 7 月 17 日	11	1	0	12
7 月 25 日	17	1	1	19
7 月 31 日	14	1	0	15
8 月 27 日	24	10	3	37
9 月 5 日	12	7	5	24
2021 年 1 月 5 日	16	1	1	18
計	94	21	10	125

内容：2 部構成で開催

1 部：ビデオによる施設紹介、勤務・休暇・宿舍・給与体制

2 部：職種別質疑応答 (3-5 年目スタッフ)

文責 村永信吾

【表2】2020年度 学会発表

発表者	職種	演題名	学会名	開催月日	開催形式
鵜澤 吉宏	PT	海を越えたキャリア形成の経験	第25-26回合同千葉県理学療法士学会	2021年3月7日	オンライン
近藤 絵美	OT	がんリハビリテーションにおける職員教育について	第9回日本がんリハビリテーション研究会	2021年1月9日-31日	オンライン
室井 大佑	PT	脳卒中片麻痺患者に対する麻痺側侵入での隙間通過トレーニングの効果 -ランダム化比較試験による検証-	第18回日本神経理学療法学会学術大会	2020年11月28日-29日	オンライン
藤本 侑子	ST	バーチャル空間を用いた半側空間無視治療支援システムにおける可動スリットの効果検証	第44回日本高次脳機能障害学会学術総会	2020年11月21日	オンライン
松田 徹	PT	新型コロナウイルス感染症予防理学療法管理チェックリストのまとめ報告	第3回日本管理部門研究会 シンポジウム：小規模組織と大規模組織のマネジメントの特性	2020年11月7日-8日	オンライン
齋藤 洋	PT	高齢心不全患者におけるDEXA法とBIA法で測定した骨格筋量と予後予測の比較	第24回日本心不全学会学術集会	2020年10月15日-17日	オンライン
石川 修平	PT	地域連携・患者教育を想定した骨粗鬆症データベース作成の試みと限界：QRコードの活用	第22回日本骨粗鬆症学会	2020年10月9日-10日	オンライン
石川 修平	PT	骨粗鬆症リエゾンサービス開始前後での当院骨粗鬆症外来のホームページアクセス数の変化	第27回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会学術集会	2020年10月2日-4日	オンライン
小林 由佳	OT	回復期病棟退院者における作業参加と健康関連QOLおよび生きがいとの関連	第54回日本作業療法学会	2020年9月26日-27日	オンライン
齋藤 洋	PT	①高齢心不全患者におけるサルコペニア肥満の有病率と予後に関する検討 ②経カテーテル大動脈弁留置術症例の退院時ADLと術前身体機能および認知機能の関連	第26回日本心臓リハビリテーション学会	2020年7月18日-19日	オンライン
椿 憲二	PT	人工透析中の左心原性脳塞栓症の症例～非麻痺側の廃用性筋萎縮の予防、運動負荷に着目して～	第25-26回合同千葉県理学療法士学会	2021年3月7日	オンライン
稲村 泰成	PT	左MCA梗塞による運動麻痺に対し、多面的な予後予測を行った症例	第25-26回合同千葉県理学療法士学会	2021年3月7日	オンライン
笠嶋 千琴	PT	脳血管障害を呈した中枢神経ループスに対するモニタリングと理学療法を実施した一症例	第25-26回合同千葉県理学療法士学会	2021年3月7日	オンライン
今村智恵	PT	入院中に脳梗塞再発、出血を呈した患者に対しリスク管理・理学療法を実施した一症例	第25-26回合同千葉県理学療法士学会	2021年3月7日	オンライン
岡田拓己	PT	脳梗塞後の意識障害及び歩行能力の改善を認めた既往にパーキンソン病を持つ一症例	第25-26回合同千葉県理学療法士学会	2021年3月7日	オンライン
藤原克哉	PT	ICU-AWを呈し、歩行獲得に難渋した一例	第25-26回合同千葉県理学療法士学会	2021年3月7日	オンライン
村永信吾	PT	基調講演 50年先、価値ある理学療法士であるために ～今、我々にもとめられること～	第25-26回合同千葉県理学療法士学会	2021年3月7日	オンライン
池田一樹	PT	シンポジウム これからの卒後教育に向けて：当院で実践する新人教育システム	第25-26回合同千葉県理学療法士学会	2021年3月7日	オンライン
井上志帆	PT	脊髄後索障害により重度深部感覚障害を呈した一症例～平行棒内にて反復動作と視覚代償を用いた介入での変化～	第25-26回合同千葉県理学療法士学会	2021年3月7日	オンライン
柴田あさひ	OT	病識・認知機能低下に対するトイレ動作方法定着に向けた介入を実施した一症例	第21/22回千葉県作業療法士学会	2021年3月14日	オンライン
目等明日香	OT	動作場面での麻痺側使用の定着を目的とした課題志向型アプローチを実施した脳梗塞の症例報告	第21/22回千葉県作業療法士学会	2021年3月14日	オンライン
渡邊 恭啓	PT	サルコペニアと低栄養を併存し早期離床に難渋した重症肺炎症例～急性期管理とリハビリテーション栄養学会学術集会	日本リハビリテーション栄養学会学術集会	2020年12月12日-13日	オンライン

【表5】2020年度 執筆活動

掲載年月日	執筆者	タイトル	掲載誌
2020/6/5	齋藤 洋	Prevalence and Prognostic Impact of the Coexistence of Multiple Frailty Domains in Elderly Patients With Heart Failure: The FRAGILE-HF Cohort Study	Eur J Heart Fail
2020/7/3	齋藤 洋	Cognitive impairment measured by Mini-Cog provides additive prognostic information in elderly patients with heart failure	Journal of Cardiology
2020/9/7	齋藤 洋	高齢心不全患者におけるフレイルの経過予測	医学書院 週間医学界新聞 第3386号
2020/11/18	宮本 瑠美	地域における健康・体力づくりの企画と実践・成果	武道・スポーツ科学研究所年報
2020/11/22	齋藤 洋	Impact of sarcopenia on prognosis in patients with heart failure with reduced and preserved ejection fraction	European Journal of Preventive Cardiology
2020/12/9	齋藤 洋	Prevalence and prognostic value of the coexistence of anaemia and frailty in older patients with heart failure	ESC Heart Fail .
2021/1/1	松田 徹	PTOTST 画像評価	医学書院
2021/1/1	大瀬 律子	PTOTST標準理学療法学・作業療法学・言語聴覚障害学 別巻 画像評価	医学書院
2021/1/22	齋藤 洋	Prevalence and prognostic implications of malnutrition as defined by GLIM criteria in elderly patients with heart failure	Clinical Nutrition
2021/2/15	齋藤 洋	心不全診療におけるフレイルの影響	月間 心臓
2021/2/26	石川 修平	地域連携・患者教育を想定した骨粗鬆症データベース作成の試みと限界：QRコードの活用	日本骨粗鬆症学会 OLSかわら版
2021/3/8	宮崎 準也	膝のスポーツリハビリテーション	日本医事新報社
2021/3/8	宮本 瑠美	腸脛靭帯炎 アスレティックリハビリテーション	日本医事新報社
2021/3/8	宮本 瑠美	離断性骨軟骨炎 アスレティックリハビリテーション	日本医事新報社
2021/3/8	大澤 有美子	ACL損傷（骨端線閉鎖前） アスレティックリハビリテーション	日本医事新報社
2021/3/8	大澤 有美子	分裂膝蓋骨 アスレティックリハビリテーション	日本医事新報社
2021/3/8	彦田 直	分裂膝蓋骨 メディカルリハビリテーション	日本医事新報社
2021/3/27	齋藤 洋	Validity and Utility of the Questionnaire-based FRAIL Scale in Older Patients With Heart Failure: Findings From the FRAGILE-HF	Journal of the American Medical Directors Association
2021/3/30	鵜澤 吉宏	術後リハビリテーション 早期離床	がんリハビリテーション メジカルビュー社
2021/3/30	彦田 由子	骨転移：動作指導	がんリハビリテーション メジカルビュー社